

2004年
3月 No.257

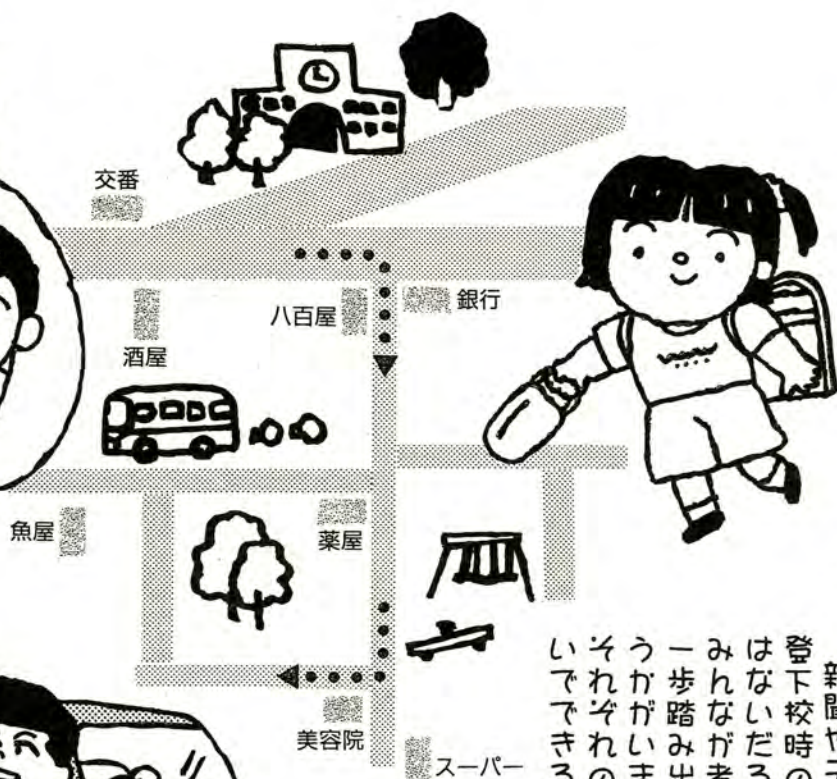
SINCE 1977

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail: volucen@vnetnagano.or.jp



ボランティア かわらばん

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会



登下校 どう守る?

時のちびせき

新聞やテレビで毎日のように報道される子どもの登下校時の事件、事故。みなさんは何かできることはないだろうか考えたことはありませんか。みんなが考えているのになかなか進まない現状から一歩踏み出すために、さまざまな機関の方にお話をうかがいました。地域で、PTAで、自治会組織でそれぞれの立場でできること、ネットワークをつないでできることを考えてみましょう。

こんな被害が報告
されています

- ・市内の小学校数校から聞いたところ、次のような犯罪被害が報告されているそうです。
 - ・自転車の若い男から声をかけられ、すぐに逃げた。
 - ・ひわいな言葉をかけられ、さわられた。
 - ・裸体を見せられた。
 - ・車に乗せられそうになり、逃げた。
- 幸いなことに未遂に終わるケースが多く、今のところ大きな事件が起きていません。しかし、子どもたちの対応次第では、いつ生命が危険にさらされても不思議でな

みんながネットワーク

このかわらばんは信販販売センターのご好意で一部の地域へボランティアで配付いただいています。

毎月1回発行/購読料・年間300円
[購読料は会費に含まれます]

く、早い対応への取り組みが求められています。

警察との連携がカギ

長野中央警察署生活安全課池上さんにお話をうかがいました。池上——通学途中に刃物を持った人を見かけた、知らない人に声をかけられた、下半身の露出、学校への脅迫電話などの報告を受けています。こうした事件は模倣性が強く、地域住民に大きな不安を与えるため、警察では犯人の検挙・逮捕に全力を尽くしています。事件の通報があれば各学校にも連絡がいき、学校からも何かあれ



ば連絡がきます。これらの情報を元に警察では、事件発生現場近くの学校の登下校時にあわせたパトロールの強化などを行っています。また県の緊急雇用対策として、児童の登下校時に市内全域を2台の警備会社の車が安全パトロールとして走行しています。



犯罪被害は子ども心に大きな影響を

たとえ軽微な犯罪でも、被害に遭った子どもが心身に受ける影響は必ずしも軽微とは言えないようです。長野犯罪被害者支援センター理事長で、県臨床心理士会会長の筒井健雄氏は、次のように話しています。

「年齢によって影響は違ってきます。音声言語の発達段階にある小学生が被害を受けた場合、当人は事件を繰り返し考えてしまいます。このため短時間で解放された」連れ去りであったとしても、時間が短かったから良かったとは言えないのです」

「同じ被害に遭っても、傷を受ける人と受けない人がいるのは人間関係の違いのため。人間関係の中で傷を修復できればいいが、できないと心の傷として固着してしまうことがあります。人間不信になったり、犯人と同じような男性（または女性）を恐れたりするようになります。逆に、親を心配させまいとして恐れない振りをする子もいる。表面では平気な顔を装っている場合、内面と外面が違ってきてしまい、これも問題です」

筒井氏はまた、犯罪の数が少ないから安心とは言えないと指摘しています。「内面への傷つき方は、数字に表れるようなものではないので」犯罪被害が発達段階の子どもの心に及ぼす影響は、想像以上に大きいようです。



母親たちは不安で一杯

登下校時の事件が頻繁に起きています。母親たちはこの現実をどう見ているのでしょうか。小学生のお子さんを持つお母さん6人に集まっていたとき、お話を聞きました。

昔は一人で歩いていても平気だったのに

A 登下校時の事件って多いよね。子供の学校は、なにかあった時に学校から何の情報もなくてうわさが先行するの。正確な情報が無いと注意のしようも無くて本当に困る。

C うちの学校はなにかあると学区外の出来事でもすぐに学級通信で知らせてくれる。そしてその日からしばらく集団登下校になるよ。今はお稽古事をして、る子も多いし時間もばらばらで、集団で帰るのはとても難しくない？集団下校のはずなのに、一人で帰ってきたことがある。

D 一人きりは心配。私たちの頃は地域の人達みんなが知り合いで、自分の子供も他人の子供もみんな守っている感じだったから一人でも平気だったけど。今は近所とのつながりが希薄になっただけでそういう雰囲気では

E 社会全体が昔とは変わってきているよね。隣の人が何をしても無関心。いざという時「助けてー」と叫んでも誰か出てきてくれるか不安。

F 現実を考えると、子供の命は自分で守るしかないのでは。被害を受ける前にドアトゥードアで送り迎えしれない。実際にはできないけど。

でも何をしたいか分からなくて

A 何かを変えなきゃとは思っても、どうしたら良いんだろう。実際、今日も子供は学校に行っているわけだし。

C 先生は忙しくて下校後のことまでやりきれない。親は働いている人も多くて、何かをしたいと思っても現実には難しい。

B 校外指導で旗を持つのですら大変だと思うときがあるよ。

D そうは言ってもどこかに任せきりにはできないし、まずは、できることから一歩かな。

F 昔のようにはいかないかもしれないけど、地域の人にも子供に目を向けてもらえるとありがたいよね。

E でも社会は急には変わらないし、現実的にはどこが主体になつてどんなシステムを作って継続していったらいいか……それぞ



A 親としてはどう声をあげていけば良いんだろう…。

厳しい現実には強い危機感を持ちつつも、どう一歩を踏み出せば良いのかが分からない。親たちの悩める姿がうかがえました。



市教委の安全対策は？ (学校への不審者、登下校を含む)

長野市教育委員会は、それぞれの学校の地域性を考慮しながら地域の実情に応じた取り組みを進めていくことを呼びかけています。市の教育委員会として、また学校単位として行っている取り組みについていくつもお話を聞きしました。

市教委としての取り組み

- 外来者に対し名札をつけてもらうこと
- 職員への防犯ブザー所持の周知徹底
- 児童、生徒への防犯ブザーの回転
- 市内7ブロックの各校長会での申し送り（リアルタイムに連携をとる）
- 報告・連絡・相談の徹底
- 現在、護身棒を市内の小中学校各クラスへ1本ずつ配布している。
- 16年度は不審者に対応した避難訓練

練を市内小中学校に義務付けている。

各学校単位の取り組み

- 地域サポート PTA活動・育成会活動の取り組み（街頭指導等）
- 警察との学舎連携 安心の家
- 学校評議委員制↓地域とのネットワーク
- 地域の不審者の情報を寄せてもらう
- 学校単位のマニュアルづくりの呼びかけ

子どもの安全を考えていくうえで、学校内の不審者対策については教育委員会、各学校単位でいくつもの取り組みがおこなわれています。登下校時の対策については地域との連携を図っていかねばならないと考えているそうです。地域と連携をとって子どもたちの安全を考えていくことが、地域で子どもたちを育てていくことへもつながっていくのではないのでしょうか。



学校はどう対応している

学校によって意識と対応にバラツキが

「学校通知で、被害にあわなかったものの具体的なマニュアルを出した。」



「近くの交番に連絡をし、下校時、同じ場所に職員を置いて安全指導をした。」これらは実際に不審者の情報があった学校がとった対応です。

そんな中で保護者への通知については、「被害にあった子供のプライバシーの問題もある」とか「子供や保護者が過剰に反応しすぎる」といった意見もあり、学校によって意識にバラツキがあるのが少し気になりました。次に実際の対策ですが、「子供たちに一人で帰らないように呼びかける」、「安心の家」の場所を確認させる」、「警察と連携して、パトカーで学校付近を巡回してもらう」などが行われていました。このほか、不審者にあつた時に大声を出す練習や、防犯ベルを回転するなど、襲われた時の対策もしているようです。

子どもを守るキーワードは「地域」か

これらの対策は事件が起きてからとられる場合がほとんどです。しかし、「教師には時間的に限界がある」、「子供の帰る時間に合わせて、庭仕事などで外にでてくれるお年寄りがいってくれるとありがたい」、「地域の協力があつてこそ、子供を守る学校がつくられる」といった学校側の声に象徴されるように、学校だけでなく安全対策を考えるには限界があるのも事実です。学校側では、子どもを守るためのキーワードを「地域」と考えて、対策をとろうとしているようです。



全国ではこんな対策がとられています

子どもたちへの声かけ 夕焼けパトロール

桜田小PTAでは、夕焼けチャイルド後に子どもたちに「気をつけて帰ってネ!」と声をかけながらパトロールをしています。桜田小学校の子どもたちだけでなく、地域で遊んでいる子どもたちみんなに声をかけ、「子ども110番」運動とあわせて子どもたちの安全と安心をつくり出すために全世帯でがんばっています。このパトロールは平成10年から始まりました。保護者3名が順番で「たすき」と「防犯腕章」をつけ、年100日から200日出動しています。遅くまで遊んでいる子どもたちに帰宅を促したり声かけをするなどして防犯に努めています。（東京都北区）

自家用車にステッカーを貼って 防犯パトロール

淀江小学校のPTAが平成15年10月から「防犯パトロール」を始めました。下校時の子どもを犯罪から守ろうと同校PTAが発案したもので保護者が「防犯パトロール」と書かれたステッカーを自家用車に貼り、2人ずつ分乗して校区内を不定期に巡回しています。PTAでは「パトロールを機に子どもを犯罪から守る



うという意識を地域に広げていきたい」と話しています。(鳥取県)

愛犬が子ども通学路を守る

犬のおまわりさん

盲導犬や聴導犬、介助犬などは広く知られています。しかし一般家庭で飼われている犬も、社会に役立つことができるのはご存知ですか？

近頃各地で活動を開始している犬のおまわりさん(わんわんパトロール)がそれです。登下校時の子どもを犯罪から守ろうと愛犬家たちが始めました。犬の散歩時間を登下校時間に

あわせて行うという活動で、おそろいのバンドナをつけて子どもたちに声かけをしたり、何か異常を見つけたらと警察や学校、PTAなどへ連絡をします。犬への厳しい訓練の必要がなく、散歩時間をずらすだけでできるのがミソ。これから各地で本格的な取り組みが始まると予想されます。(東京都)

長野市でも始まったボランティア安全パトロール



警察と連携して多くのボランティアも活躍しています。地区の防犯協会では、自転車のかごに「安全パトロール実施中」というパネルをつけて運転する取り組みが行われています。ただ付けて走るだけの簡単な活動ですが、周りの防犯意識を高め、



犯罪抑止にもつながると好評です。パネルは個人でも購入可能で、防犯



みんなでつけよう!!

協会から助成も出ます。詳しくは長野中央警察署生活安全課 0261-24410110まで。

解決へのヒントを探る

学校関係者からはこう指摘する声

「これからは地域全体で子どもを守っていくなくてはならないでしょう。しかし、『地域で子供を守る』という言葉はあっても、ではどうしようという具体策が地域の側からはまったくあがってこないのが現実です。昔ながらの相互扶助社会を見直し、地域をやがて引き継いでいく子供たちに、地域として何をしてやれるかを考える必要があるのでは。地域一人一人の意識を変えなければ、本当の意味で、地域で子供を守ることはにはならないのです。子どもを持つ母親たちだけでなく、私たちみんなが『地域で子供を守る』この意味を根本的に考え直す必要があります。」

《取材チーム》

勝田貴子・宮沢久美子・込山哲也
丸山由紀子・坂口和代・戸田千登美

グリーンノート

枯れ木？



このあたりでは、5月にやっとな芽が成長する露地のレモンパーベナ。この葉のお茶はとともおいしい。

福寿草の黄色の花があふれるエネルギーを、水仙やチューリップの芽が力強さやのびやかさを与えてくれる。そんなスタートにふさわしい季節になってきました。土もほこほこしてきて、枯れ草や枯れ木を処分して…と思う手が止まる瞬間。待てよ、この木、生きているかもしれない。枝を切ってみると中心部は薄緑。待ってみよう。庭仕事をする汗ばむ頃、ようやく顔を出すであろう小さな芽に出会うまで。グリーンボランティア 徳永

スタッフ日記

つい先日高校の先生方と共に善光寺のバリアフリーを考えるフィールドワークに参加する機会を得た。小学校時代、通学路に善光寺が入っていた私は何百回、何千回と境内を歩いているにもかわらず善光寺にホルスタインがいることを知らなかつた。眼病に霊験あらたな神社があることを知らずにいた。宝物館に入ったのはこれが初めてだった。初めは早稲神社に自分の歳の数だけ『目』を書いた絵馬を奉納しに行こう。こっそりと。(A・T)

隣のボニティブ 第27回

グループ名

パネルシアターもくれん

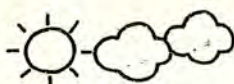
わあ！きれいな！子供達の歓声があがった。照明を落とし暗い会場に蛍光ポスターカラーで描かれた絵が浮かぶ。白パネルも勿論だが黒パネルは特に人気がある。

「もくれん」はパネルシアターの会だ。平成7年氷鉋老人福祉セ

ンターの講座から出発。現在毎月第2・第4木曜日氷鉋老人福祉センターで練習と作品作りを実施している。ファンは子供ばかりではない。コスモス・氷鉋・更北・篠ノ井等老人福祉センターでも大歓迎。今までの講演回数は百回以上。興味のある方はご一緒にいかがですかとのことです。

紹介者 万葉会

ボランティアセンターの 2月分の相談現場



子供関係の活動したい。

高校生。学校以外のこともしてゆきたいし、人間関係も広げたいので、子供に関する活動をしたい。

⇒ 子供に関することでもいろいろなやりかたがあることを話している中で、自分でできそうなことのきっかけが見えて来たような気がするということで、考えてみることにした。

ボラしたい

何か自分にできることで活動探し

写真や洋裁などの趣味。時間があるので何か活動できないかと思っている。

⇒ 話をしたり、いっしょに地元の活動の様子を聞いたりする中で、趣味や特技を生かして、地域のボランティアセンターで広報誌を作る出会いができた。

テープおこしの実践をしてみたい。

テープおこしの練習をして上達した。将来的には仕事にしていきたいが、実績を積む必要があるのだからテープおこししたい。

⇒ 講演会のテープおこしが必要だといっていた団体を紹介した、活動をはじめることになった。

炭焼きをした。お芋を焼きますよ

会で炭焼きをした。その炭でお芋を焼くとおいしいので焼いてあげたい。どこがよろこぶだろうか。

⇒ 近くの老人福祉センターに紹介し、3月のボランティアの集いにお誘いした。

医療施設。ボランティア募集をしたい。

今までも募集しているが集まらない。もっと活性化させたい。シーツ交換等の業務補助ではなく、他の面で検討していきたい。

⇒ 情報交換しながら、広報での宣伝以外にも講座や情報交換、話し合い、を大切にしたいということになり、「ボランティアの集い」で一緒に学習することになった。

ボラ求む

病院。来年度の募集について

来年度はボランティア募集に力を入れていきたい。掲示などをしてほしい。

⇒ 掲示などの広報と併せて講座を組むことも検討することになった。

障害者の販売をいっしょにしてほしい。

公共機関で作業所の作品の販売をできることになった。2-3人づつ活動する。いっしょに販売を手伝ってほしい。

⇒ 掲示板にちらしを張ったり、ボラセンの広報ルートをつえかって広報して行くことから始めた。

点字の講習会開催について

自分の身内で点字が必要になるので覚えて活動につなげたい。

⇒ ボランティアグループ「点訳サタデー」と南部勤労青少年ホームの両方で講座開催予定があるので情報提供した。

情報提供

傾聴電話の研修の内容を知りたい

他市社会福祉協議会担当。ティサービスでお話し相手の研修をするので傾聴の研修を取り入れたい。

⇒ 研修の内容と様子を情報提供した。

わらくつの作り方をどこかで習いたい。

母が来るときにふるさとのわらくつの作り方を習いたいと言っている。習えないだろうか。

⇒ いろいろ探したが、鬼無里村社会福祉協議会で紹介してもらうことができた。

支援

会社の社会貢献について知りたい。

会社での社会貢献をしているが、充実させていくためにどうやっていったらいいか考えている。

⇒ 来年度、社員の研修会を行うことも含め、計画を立てる上での情報交換とサポートをした。

現場状況 2月分

相談支援

ボラしたい	19件
ボラ求む	6件
情報求む	23件
ボラ活動支援	10件
ボラ活動上の悩み	8件
よろず・悩み	3件
ボラ保険・事故処理	1件
その他	7件
合計	77件

問い合わせ

会議室予約	136件
伝言	73件
情報提供	166件
機材貸し出し	108件
チラシ・掲示物	55件
その他	130件
受付(よりいい会等)	792件
合計	1,460件

情報カード受付

45件
機材貸し出し 21件 177ヶ

ボランティア保険加入

ボランティア活動	5件
行幸用保険	5件
在宅福祉サービス総合	0件
送迎サービス補償	0件
合計	10件

催し

ながのボランティアのつどい みんなでホイ！ 春うらら ご近所力が花ひらく

ホイ1全体会 あらゆる生命を慈しむ文化をどう育てていくか
—孤独化の進む社会から魂が触れ合う社会へ—

：シゴジスト：播磨靖夫氏 財団法人たんぼぼの家 理事長
荻原礼子氏 (有)結まちづくり計画室代表/まちづくりプランナー
コーディネーター：香山篤美氏 NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会事務局長

ホイ2 体験交流会

お茶飲みサロンで寄席体験/聞いて話して心スッキリ傾聴体験/ハルノアート講座
お昼は本場タイカレーや珍しいアイ料理、昔懐かしいおやき料理など。

ホイ3 テーマ別分科会

『消化授業に終らせない！福祉教育+α』/『地域でのボランティア活動の拡大・
推進を考える場』/『やる人のやるかを考える』/『遠くの身内より近くの他人。
被災時の人・物・情報を考える』/『地域で“子供の育ち”をサポートする』
『子供の居場所をおやじが作る おやじの居場所を子供が作る』

日時：3月7日(日)9:30～受付開始/場所：長野市ふれあい福祉センター

参加費：¥500(資料代)昼食代別途

問：長野市ボランティアセンター 滝沢・渡辺 TEL 026-227-3707/Fax 224-1513



催し

第1回ガラクト リズムコンサート

日常生活から出るゴミやガラクトを使ってパフォーマンスを楽しもう！

日時：3月21日(日)

場所：JR長野駅前広場

問：NPO法人インターナショナル
ミュージックバイオウェブ 富井
TEL 060-3334-0505

催し

成年後見制度啓発セミナー ボケたらどうなる？

日時：3月9日(火)

13:00～16:00

場所：サンパル山王

参加費：1,000 要事前申込

問：NPO法人ライフデザインセンター
TEL 026-229-8001

催し

点訳ボランティア 講習会

点訳ボランティア活動希望者求む。

日時：4月10日(土)～5月29日(土)
全6日間 13:30～15:30

場所：長野市ボランティアセンター内

参加費：¥1,700/締切：4月3日

申込：葉書に住所・氏名・電話番号を
記入し下記住所へ郵送のこと

〒380-0813 長野市緑町1714-5

長野市ボランティアセンター内点訳グループサティ

問：点訳グループサティ 中沢

TEL 026-234-1026



催し

信濃家庭教育講座 親と子の心のピットの合わせ方

日時：3月17日(水)10:00～12:00

場所：ふれあい福祉センター 4F-3

参加費無料

問：信濃家庭教育研究所 大久保

TEL 026-296-0145

催し

講演会 「著作権について」

ボランティア活動の中で「これって著作権
に触れないかしら？」と思うことは
ありませんか？専門家と共に考えま
せんか？

日時：3月27日(土)10:30～12:30

場所：サンアップル 203会議室

参加費：講師料を等分負担

一人¥1,000を予定

問：ふつきねっと(視覚障害者のための
「PC入力支援の会」小宮

TEL 026-296-1334



催し

ささえあい応援金 公開プレゼンテーション

グループに対する助成金交
付を公開プレゼンテーションによ
り決定します。

日時：3月28日(日)

13:00～

場所：長野市ふれあい福
祉センター

長野ボランティア・市民活動

支援ネットワーク 小宮山

TEL 026-227-3707

催し

移送サービス運転者 研修会

運転者の資質向上や安全・信頼性を高
める為に、運転者を対象として開催。

日時：3月13日(土)～14日(日)

場所：サンアップル/参加費：¥5,000

問：コーディネートプラザながの 鈴木

TEL 026-285-1900

催し

介護者のため のメンタルヘルス

群馬県在住のカウンセラー小池
典子氏による対話式講演会

日時：4月3日(土)

場所：もんぜんぷら座

参加費：¥1,000

問：まごころ福祉サービス

TEL/Fax 026-263-6235

催し

動く大型紙芝居で民話を語る会 虹の小箱 3月のお話会

3月は「若がえりの水」「さきざき物語」
「玄暮之丞」(信州の民話)以上3本。

日時：3月13日(土)13:30～14:30

場所：もんぜんぷら座 BOX2(地下)

問：虹の小箱 小林 TEL 026-292-7149

催し

あといくつ約束すればいいのだろう 世界を変えるためには ドキュメンタリー上映会「PROMISES」

20分と離れていないパレスチナ・イスラエル双方の子供達が一日を過ごす…。
アラブ人が殺しあうのはイスラエル人のせいだ！でもそれは子供のせい？

日時：3月13日(土)13:30～16:30

場所：ふれあい福祉センター/参加費：¥500

問：長野NPO 三澤 TEL 026-255-3286

情報かわらばん

情報

いつも傾聴でんわ
お気軽にお電話ください

つらいこと、悲しいこと、嬉しいこと。何でも気軽にお話ください。研修を受けたボランティアが電話の前でお待ちしています。

月・水・土 14:00~18:00 TEL 026-225-0404

問:長野市社会福祉協議会 ボランティアセンター傾聴電話係
TEL 026-227-3707



催し

高齢者のからだと健康管理
からだのこと、病気のこと

講師:大門東クリニック院長 山口裕通氏
日時:3月24日(水) 13:30~15:00
場所:湯福老人福祉センター 大会議室

問:湯福老人福祉センター 南雲
TEL 026-232-8335

催し

ふつうに おいしく 口から食べてみたい
第1回 介護者のための口腔ケア教室

内容:「口腔ケアの基礎知識」「口腔ケアの実践」
講師:村田美智子氏(歯科衛生士)/参加費:¥800(資料代込)
場所:もんぜんぷら座3F 302会議室/定員:30名(先着順)

問:NPO法人 ヘルステアながの21 TEL 026-232-2121

催し

病院ボランティア
講座

病院でのボランティア活動に対する基本的な事柄を理解しより充実した活動ができる講座です。
日時:3月14日(日)~6月3日(木)全7回
場所:特定医療法人新生病院
締切:3月10日(水)
参加費:¥1,000(資料代込)

問:特定医療法人 新生病院
TEL 026-247-2033

情報

書籍案内

『「食」の自立支援の考え方と実務マニュアル』

平成16年度より実施される「食の自立支援事業」に向けて配食サービスからの円滑な移行、利用者に対する食関連サービスの適切な提供のための実務マニュアル。定価¥3,200(税抜)

問:東京法規出版 TEL 0120-102525

お知らせ

平成16年度ボランティアグループ台帳、3月10日(水)までに長野市ボランティアセンターへご提出ください。
長野市ボランティアセンター滝沢 TEL 026-227-3707

情報

ゆったりゆったり
活動しませんか

同年代(中学生~20代)の人達と一緒に遊んだり話したりできる居場所が欲しいんです。場所等変更有。要確認。

日時:水13:30~17:00

障害者福祉センター

土13:00~17:00

ふれあい福祉センター

問:歩々 石坂

TEL 090-8723-0652



情報

福祉の職場紹介
します

福祉職場に就職を希望する方のために「福祉人材無料紹介事業」を実施中。

問:長野県福祉人材研修センター

TEL 026-226-7330

催し

長野手話サークル 学習交流会

劇やコントを通じて手話を学んでみませんか?

日時:3月21日(日) 9:30受付開始

場所:サンアップル

問:長野手話サークル TEL 026-232-4540

催し

聴覚障害者に
ついて知る教室

ゲームやミニ講演を通して聴覚障害について学んでみませんか?

日時:3月20日(土) 10:00~15:00

場所:サンアップル

問:長野県聴覚障害者ライブラリー

TEL 026-295-3530/Fax 295-3567

催し

今月の月例情報市場は?

ボランティアのつどいの中で企業・団体から提供された物品のオークションを開催します。

日時:3月7日(日) 12:10~

場所:ふれあい福祉センター4F

問:ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク TEL 026-227-3707



催し

ガンを治す生活
ガンにならない生活

「体は常に治りたがっている。だからガンも治って当たり前」
講師:川竹文夫氏

(NPO法人ガンの患者学研究所代表)

日時:3月14日(日)

14:00~16:00

場所:小布施町公民館講堂

参加費:無料

問:特定医療法人 新生病院

松村 TEL 026-247-2033

情報

世界の仲間と出会う感動

成年国際交流事業 参加青年募集中

内閣府では日本と諸外国の青年の交流を通して、相互の友好と理解を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を身につけた次代を担うにふさわしい青年を育成するために本事業を実施します。

資格要件:18歳~30歳迄。一般的な教養があり交流活動を円滑に行える英語力を有すること。渉外団員は訪問国の公用語で任務を遂行できること

募集期間:3月1日~31日迄。/費用:¥80,000~¥200,000

問:長野県社会部青少年家庭課 TEL 026-232-0111

求む!

出会いをつくる 新鮮!! 情報紙

3月
No. 257

ボランティア かわらばん

ながのボランティアかわらばん編集委員会

ボランティア

します!

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

求む ビーズクッション 求む

学校で車椅子用の小テーブルを作るのに使います。

問:稲荷山養護学校
宮崎

TEL 090-4180-2355

求む おじいちゃん おばあちゃんと一緒

豊野町にあるグループホーム泉平ファミリーしらかばではゆっくり時間をかけてお年よりのお話を聞いてくださる方を募集中。

問:まごころ福祉サービスTEL/Fax 026-263-6235

ボラ 大道芸でボランティア しています

風船で動物を作ったり、ボールを使ったパフォーマンスなど。日時・場所・料金は相談に応じます。

問:内田卓馬 TEL 026-234-4660

求む ワンカフェ 開店します

県庁舎で障害者が働く「ワンカフェ」がスタート。障害者と共に働いてみませんか?

問:花工房福祉会
ワンファミリー 小池

TEL 026-283-8787

求む 子供達と一緒に遊んで ください

不登校児が増える中、不安になり親子で悩み苦しんで命を落とす人もいます。一人で悩まず経験者の親、若者と話すことでお互い前向きに元気に生きていくことを目的としています。

問:ブルスカイ(登校拒否を考える親と子の会)
松田 TEL/Fax 026-278-7223

求む おもちゃ、 ください

子育て中のお母さんやおばあちゃんを対象にあそび広場を開催中。子供用のおもちゃ、室内用のすべり台・お家等求む。

問:ボランティアグループ花の丸クラブ 小林
TEL 026-278-8557

求む ベビーシッター 求む

外国人に日本語を教えています。生徒が学習している間子供の面倒を見てください。

問:吉田日本語教室
片山

TEL 090-1866-7393

求む 平日の昼間、 一緒にいかが?

簡単な手芸をする活動を開始しました。楽しくおしゃべりしながら小物作りをしませんか?

問:ちっく・にっこりん(福祉系なんちゃって手芸部)
湯本 TEL 090-3565-6164

求む ドッグセラピー 会員募集中

あなたの愛犬でふれあいのボランティア活動をしませんか?

問:ドッグ・ハンド 青柳
TEL 026-221-2835



お知らせ

平成16年度ボランティア活動保険の加入申込受付中。ボランティア活動中の事故や怪我等に対応可。

長野市ボランティアセンター
坂口

TEL 026-227-3707

お知らせ

次回かわらばんは4月1日(木)発行予定です。情報欄に掲載希望団体は3月20日までに原稿をお寄せください。

問:長野市ボランティアセンター
滝沢

TEL 026-227-3707

Fax 224-1513

vc103@vnetnagano.or.jp

求む 書き損じ葉書 でボランティア

余った年賀状や書き損じ葉書はありますか?一枚の葉書で長野市のボランティア活動を応援できます。

問:長野市ボランティアセンター 滝沢

TEL 026-227-3707



求む 子どもまつり 実行委員募集中

一緒にまつりを作ってみないか!

※実行委員会開催日時

3月9日(火) 19:00~21:00

場所:ふれあい福祉センター5F-4

※子どもまつり開催日時

5月9日(日) 10:00~15:00

場所:若里公園

問:長野北部子ども劇場 上野

TEL 026-244-9616